

「e500H-IGS」を話プログラムミングシステム

ムも搭載し、短時間でプログラムを作成できる。2機種は10月30日に開幕する第27回日本国際工作機械見本市(JIMT OF2014)

イム熱変位補正機能」を搭載した。機械各部の実温度データと機械の3次元(3D)モデルを基に熱変形をコンピュータ

ミングシステム「タプロスー」も導入した。単純操作で高品質の加工プログラムを短時間で作成できる。価格は4950

歯形、歯すじ形状加工はそれぞれ10分以下の加工誤差を実現した。価格は6500万円(同)。年販目標は10台。



今春から「DMG MORI」グループは、WECのトップカテゴリーに16年ぶりに復帰したボルシェチムのメーソンスポンサーを務める。レ

### ICP発光分析装置

## ランニングコスト低減

島津

【京都】島津製作所は「誘導結合プラズマ(ICP)発光分析装置」同9820」を発売し

た。消費税抜きの価格は1450万円から。多元素の定性、定量ができ、土壌や飲料水、食費運、医薬品、金属材料など幅広い分野での研究開発や品質管理に適している。

ICP発光分析装置は約7000度Cのアルゴンガスによる誘導結合プラズマを利用して元素を分析する。このアルゴンガスの流量や使用電力を待機時に従来の半分に抑える機能を特徴。1日6時析した場合250万円につながらという。ま

経済産業省と日本機械工業連合会は社会での活躍が期待されるロボットを表彰する「第6回ロボット大賞」の入賞製品を決定した。ロボット大賞(経済産業大臣賞)に富士機械製造の「モジュール型高速多機能装着機NX-TⅢ」、最優秀中小・ベンチャー企業賞(中小企業庁長官賞)にワコーテックの静電容量型力覚センサ「DynPick」など、いずれもモノづくりや社会生活に貢献するロボットなど10点を選定した。15日に東京・有明の東京ビッグサイトで表彰式を行い、同時に開催する「Japan Robot Week2014」で、受賞製品を一般公開する。

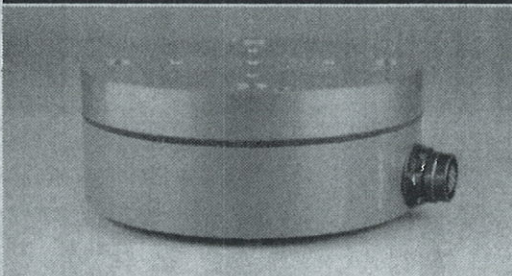
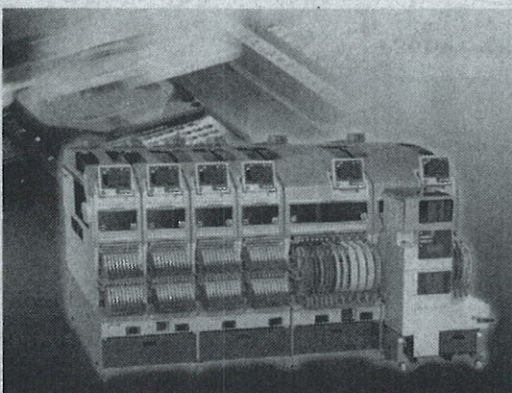
## 大賞に富士機械製造

ロボット大賞は将来のフトウェア部門、ロボット市場創出への貢献度や期待ビジネス・社会実装部待度が最も高いロボット部門、サービスロボット部門を表彰する制度。産業用部門、公共・特殊環境ロボット部門、部品・ソフトウェア部門の5部門がある。

大賞の富士機械製造の

## 第6回 ロボット大賞

15日 東京ビッグサイトで表彰式



ル「III」型力覚センサ「DynPick」の着脱可能なロボット用装着機「NX-TⅢ」

製品は、電子部品をプリント基板に実装する高速自動装着機で、スマートフォンに使用されるような極少部品も高精度に実装でき、稼働中でも部品の交換ができる使い勝手の

【最優秀中小・ベンチャー企業賞(中小企業庁長官賞)】「部品・ソフトウェア部門」静電容量型力覚センサ「DynPick」(ワコーテック)

【優秀賞】「サービスロボット部門」狭小空間点検ロボット「moog Ie」(大和ハウス工業)

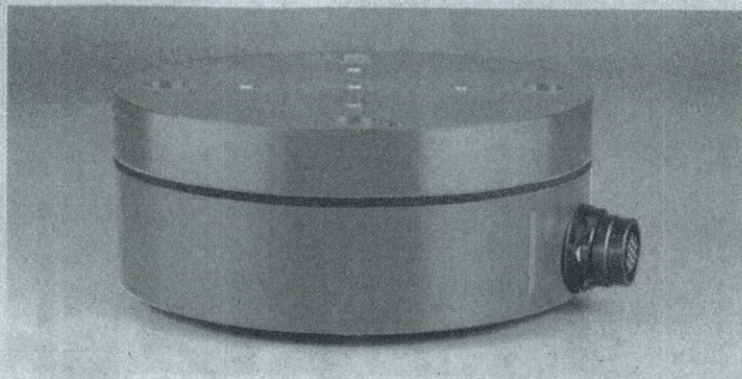
## 機械・ロボット・航空機

女子医科大学/デンソー/タイフク

### 最優秀中小・ベンチャー企業賞

「部品・ソフトウェア部門」

(中小企業庁長官賞)



静電容量型力覚センサ「Dyn Pick」 ワコーテック

静電容量の変化から力を検出する力覚センサ。産業用ロボットに搭載することで、人間のような力の感覚を持たせられる。従来はできなかった壊れやすい部品を簡単に組み立てたり、はめ合わせたりできる。比較的小さな電子部品を実装する家電分野での機器の組み立て、研磨などの工程で使われる。

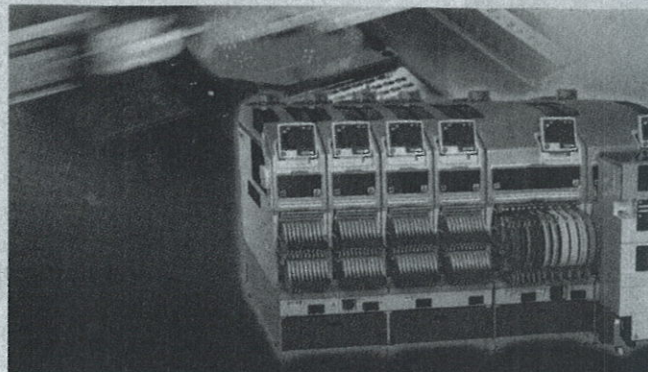
多少乱暴に扱っても壊れないのが最大の特徴。定格荷重およびモーメントでの耐久性2000万回以上を実現した。産業用ロボットが動作する1分に4回の定格荷重およびモーメントが負荷される想定で、10年間耐久性を維持できる。

歪みゲージ型の力覚センサが50万円〜200万円するのに比べ、19万円〜40万円と低価格。検出原理・構造が簡単なので安価に製作できる。

### 第6回ロボット大賞

「産業用ロボット部門」

(経済産業大臣)



モジュール型高速多機能装着機 NXT III 富士機械

電力の増加が問題になっていたが、NXT IIIはヘッドを高剛性かつ軽量化構造にして、軸動作1回当たりの実装点数を従来機より倍増。チップ1点当たりの消費電力を約26%削減した。

スマートフォンなど携帯機器の市場拡大に伴い、電子部品自動装着機も面積生産性が重要視されるようになる中、NXT IIIは新開発ヘッドで軽量化と生産性アップに成功。もとより業界で最高レベルを誇っていた面積生産性をさらに向上させた。

今後、実装が進むとみられる「0201」(縦0.25mm×横0.125mm)と呼ばれる極小部品にも対応し、ウェアラブルなど次世代機器の生産も可能にした。

# 第6回 ロボット大賞



経済産業省と日本機械工業連合会は15日「第6回ロボット大賞」の受賞10件を表彰する。多数の応募のなかから、将来の市場創出への貢献度や期待度が最も高いロボットが選定された。大賞に選ばれた富士機械製造の「モジュール

型高速多機能装着機NXT III」は、設備を稼働させながらヘッドを交換できるなど、従来にない発想が評価された。受賞ロボットは同日から東京・有明の東京ビッグサイトで開催する「Japan Robot Week2014」で展示、紹介する。

## ＝ 社会実装と技術革新 進む ＝

#### 審査員特別賞

「ロボットビジネス・社会実装部門」



リハビリの開発とせ持つ全副師や義肢装が連携し、障害者、

#### 日本機械工業連合会会長賞

「産業用ロボッ



された検体ミクロン単位ライドガラ

